

## 「ルダキ郡ザイナボボド地区飲料水供給システム整備計画」引渡し式

5月20日、宮下大使は、首都ドゥシャンベ市の南に隣接するルダキ郡を訪問し、「草の根・人間の安全保障無償資金協力」のスキームで実施されたルダキ郡ザイナボボド地区5村における飲料水供給システム整備プロジェクトの引渡し式に出席したところ、概要は以下のとおりです。

- 1 宮下大使は挨拶で、「地元住民はこれまで、生命に不可欠であるクリーンな水を手に入れるため苦労してきました。今般、多くのドナー機関による支援、そして、ルダキ郡の人々の献身によって新たな飲料水供給システムが完成したことを嬉しく思います。このシステムが適切に管理され、人々の豊かな生活に貢献し続けることを期待しています」と述べました。
- 2 このプロジェクトは、ルダキ郡の水資源インフラ改善を目的として、我が国政府が、スイス開発協力庁（SDC）やルダキ郡、欧州安全保障協力機構（OSCE）等と共同で資金を供与し、オックスファム・タジキスタン支部により実施されたものです。ザイナボボド地区5村にわたり全長25,339mの水パイプラインが整備され、約7,000名の住民が衛生的な水にアクセス可能となりました。
- 3 引渡し式にはイスマトゾダ・ルダキ郡長を始め、被供与団体であるオックスファム・タジキスタン支部やドナー機関の関係者のほか、大勢の地域住民が参席しました。各団体からは、日本の支援に対する感謝の言葉が述べられました。
- 4 引渡し式終了後、宮下大使は、ザイナボボド地区内にあるポンプステーション、学校や医療施設等を訪問し、新システムの稼働状況を視察しました。



パンと蜂蜜で歓迎される宮下大使



ポンプステーション内部を視察する宮下大使



新システムで供給された飲料水を飲む住民



被供与団体及び他ドナー代表らとの記念撮影